



# いのちの日便り

2018.5.8.

いのちの教育推進プロジェクト

## 「一中いのちの日」って？

山形一中では一人一人が「いのち」と向き合いながら、仲間と様々なことを語り合い、互いに認め合い、「いのち」を輝かせて生きる生徒を育てたいという思いから、毎月「一中いのちの日」を定めて、「いのち」について考える活動を行ってきました。今年度も、総合の時間なども活用し、より充実した活動を目指して、「一中いのちの日」に取り組んでいきたいと思えます。

4月26日(木)の朝、放送による朝会で、「なぜ『いのちの日』ができたのか」「いのちの『縦糸』と『横糸』とはどういうものなのか」について話をしました。

いのちの縦糸…過去・現在・未来と流れるいのちの「つながり」

いのちの横糸…人やものとの「つながり」「絆」

もう一度確認し、これからの「一中いのちの日」の活動に取り組んでいきましょう。



## <今年度の活動計画>

月 日	場所	内容
4月 26日(木)	朝:各教室	「一中いのちの日」について
5月 10日(木)	朝:各教室	いのちマークペイント
6月 7日(木)	朝:各教室	読み語り①(担任)
7月 5日(木)	体育館	講演会
8月 22日(水)	始業式+教室	校長先生の話
9月 4日(火)	総合:教室	ハートフルメッセージ
10月 12日(金)	各教室	エンカウンター
11月 1日(木)	総合:地域	奉仕活動
12月 4日(火)	朝:各教室	読み語り②(PTA主催)
1月 8日(火)	始業式+教室	校長先生の話
2月 15日(金)	朝:各教室	読み語り③(担任外)
3月 1日(金)	朝:各教室	一年を振り返って

(注) 予定が変更されることもあります。

それぞれの活動後に、みなさんの感想を載せた「いのちの日便り」を発行します。仲間の思いを知ることも、とても大切ないのちの学習です。お便りを読んで、みなさんの心の成長に役立ててください。



## ☆4月26日(木)放送朝会での「一中いのちの日」についての話を聞いて

### 1年1組 佐久間 あすかさん

いのちの日の話を聞いて、縦糸、横糸のことがよくわかりました。そして、どちらも大切だということもわかりました。縦糸は、先祖代々引き継がれてきた命を紡ぐこと、横糸は絆のこと、と聞きました。布は縦糸と横糸でできていると聞いて、布はこれまでの人生みたいなものだと思います。

### 1年2組 岡崎 公洋さん

今日の話では、縦糸と横糸がうまくつながればしっかりとしたものとなる、と言っていました。自分自身の横糸を強くすると同時に、友だちやクラスメイトの力強い横糸になるために、協力して物事を進めることを頑張りたいです。

### 2年1組 細谷 美月さん

縦糸も横糸もすごく大切だと改めて思った。過去も現在も未来も自分に必ず関わってくる。過去にとらわれずに生きていくこともいいけれど、たまに振り返ってみてもいいなと思った。横糸には自分以外も関わってきていて、つらい時や悩んでいるとき、側にいてくれる身近な存在も必要だということがわかった。頼ったり、相談してみたいと思った。命を大切に生きていこうと改めて思った。

### 2年2組 高橋 勇太さん

今日の話聞いて、自分の命は家族や地域の人、クラス、学年や部活動の先輩たちに支えられているということがわかりました。「今の自分がある」意味を考えられたので良かったです。

### 3年1組 加藤 まいさん

話を聞いて、たくさんの人に支えられて今があることがわかりました。支えてくれている人に常に感謝の心を持ち生活していきたいです。支えてもらうだけでなく、自分も周りの人の支えになれるように、思いやりの心を持って生活していきたいと思います。いのちの日について改めて考えることができて良かったです。

### 3年2組 青木 想依さん

今年は学校生活最後の年なので、縦糸と横糸のどちらにも力を入れて生活したいと思いました。自分の周りにいる人や、あるもののおかげで、今の自分があるということを意識して頑張りたいです。

なぜ「一中いのちの日」ができたのか、どのような思いを大切にしてもらいたいのか、みなさんの心に伝わったことをとてもうれしく思いました。また、今回の活動を通して、自分だけでなく、支えてくださっている周りの人も大切にしたいと考えた人がたくさんいました。

一年間、一人一人が「生命」「生き方」「心」を見つめ、みなさんが心安らかに生活していけるよう活動していきたいと思えます。  
(プロジェクト担当)



★次回5月10日(木)は朝の活動で「いのちの日」のシンボルマークのペイントを行います。  
マークの意味を考えながら、色に思いを込めて取り組んでみましょう。